



味噌や豆腐、練り物など地産商品を手に取る買い物客ら＝4日、豊田・四郷町で

豊田市四郷町の複合商業施設「四郷スマートタウン」に4日朝7時に開店したマックスバリュ豊田四郷店は初日から多くの買い物客らで賑わった。大川清店長(49)は「期待をひしひしと感じる。地域に根ざし、親しまれる店に育てていきたい」と意気込みを語る。

豊田市初、西三河エリアでは3店舗目の同店は、地産地消を掲げ、農産物の一部は地域の農家が直接店舗に納品。三河一色漁港市場で早朝に買い付けた鮮魚が当日午前には店頭に並ぶ。

また、国産黒毛和牛を中心に

豊田初のマックスバリュ開店初日から販売 豚肉、加工品など地産充実

希少部位や肥料から出荷まで徹底管理したタスマニアビーフを販売。豊田で飼育された「とよたひまわりポーク」や加工品など「地産」商品が充実。総菜は昼・夕食時に合わせ、できたて商品を即座に届け、店内で焼き上げる国産焼鳥や手作りおにぎり、焼きたてパンなど幅広い品揃えで美味しさあふれる売り場を展開する。運営するマックスバリュ東海(浜松市)では「あらゆる世代に対応した商品の充実を図り、心地いい買い物体験ができる店づくりを目指したい」と話している。「後藤真一」